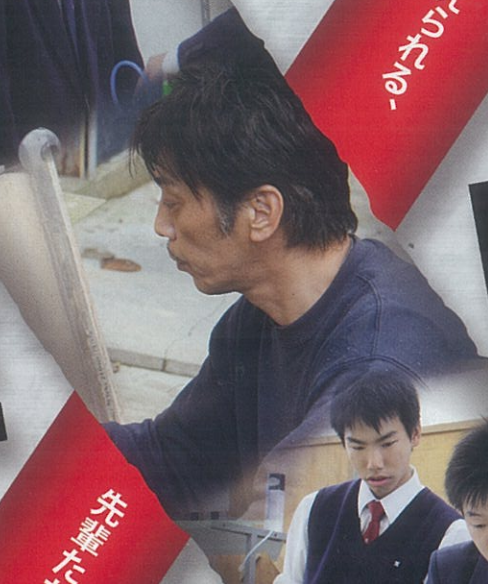


FUTURE

技能五輪



愛知モノづくりDNAを継承する

愛知モノづくりDNAを継承する

決意

マイスター

E

PERT
エキスパート

HOPE

モノづくり

発見

アビリンピック

PRIDE

愛知モノづくりDNAの
継承者たちへ

TECHNOLOGY

新東工業 株式会社

愛知県立

岡崎高等技術専門校

「図面」はことばのない手紙 受け継がれる製図に対する思い。

世界トップシェアを誇る鋳造プラントメーカー「新東工業株式会社」に勤務する植村晃さん。第30回全国アビリンピック（全国障害者技能競技大会）で金賞を受賞し、国際大会へ出場した。恩師の前島和雄先生は、植村さんを始め、これまで指導してきた多くの訓練生が各種競技大会等で優秀な成績を収めている。そんなお二人に、製図に対する思いをうかがった。



新東工業 株式会社

植村 晃さん

愛知県立岡崎高等技術専門校

前島 和雄 先生



図面力を 身に付けることが必要

——機械CADとはどういったもので
すか？

前島先生 コンピュータを利用した設計です。ソフト自体の扱いは割と簡単なのですが、色々な図面を描くためには、立体の形状を認識する力と幅広い知識、また製図を描くために重要な図面力を身につける必要があります。

——機械CADの魅力とは？

植村さん 自分が伝えたいことを、ど

のようにして図面に盛り込むか考え、工夫していくところです。CADの世界には、学びの限界を感じないほど学べる知識が無限にあります。できることが増えると自信へと繋がっていきます。

——国際アビリンピックへの出場が決まったときは、どんな気持ちでしたか？

植村さん 自分の技能が評価されて、国の代表に選ばれたのはとてもうれしかったのですが、会社とか国を代表して出場することにプレッシャーも感じました。でも、めったに経験できることではないので、精一杯頑張ろうと思いました。

——国際アビリンピックへ参加する際、苦労した点はどこなところですか？

植村さん 国際大会ではISOに準拠した作図が求められるので、日本工業規格（JIS）と、国際規格（ISO）の規格の同等性について、一致、不一致を把握することが一番苦労しました。

——大会に出場する前と比べて、心境の変化はありましたか？

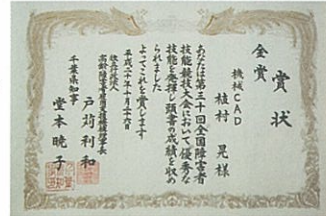
植村さん 今までよりも自分に自信が

SINTOKOGYO.,ltd.

新東工業 株式会社

1934年創業。名古屋に本拠を置く世界トップのシェアをもつ鋳造プラントメーカー。鋳造装置のほかに、表面処理装置、環境関連装置など幅広い事業を展開。北米、アジア、欧州ほかに拠点。

所在地/
名古屋市中村区名駅三丁目28番12号
大名古屋ビル7階（本社）
障害者雇用率/1.86%（2011年6月1日現在）
TEL（052）582-9211
ホームページ <http://www.sinto.co.jp/>



アビリンピック愛知県大会の金賞（左）
全国アビリンピックでの金賞（中）
同大会で授与された賞状（右）

持てるようになりましたし、国際大会で感じた自分に足りなかった能力を、今後伸ばしていこうと強く思うようになりました。

——植村さんの業務内容を教えてください。また、どのような志を持って業務に励んでいますか？

植村さん 今は技術管理グループという部署で、社内規格の整備をしたり、図面の改善を行ったりしています。自分が行った業務の後工程をお客様だと思いついて、どうしたら喜んでもらえるかを常に意識しています。

能力は訓練で向上させる ことができる

——前島先生は、多くの論文を発表されていますが、なぜ論文を書くことと思ったのか教えてください。

前島先生 愛知障害者職業能力開発校で機械CADを教えていたとき、障害のある方の就職は非常に厳しく、企業と障害がある人の間のギャップを感じていました。就職の三条件として、年齢、障害、能力があり、うまくマッチング

すると良い就職ができるのです。年齢と障害は変えられませんが、能力は訓練で向上させることができます。だから、厳しい訓練をしてきました。様々な障害があるため、常に正しいと言える答えはなく、毎日考え、日々葛藤でした。それを発表し、伝えたいと思いました。

——前島先生がこれまで指導してき多くの訓練生が、各種技能競技大会で優秀な成績を納めています。指導のコツやポイントはありますか？

前島先生 図面はなかなか描けるものではありません。以前、機械設計の仕事をしていた際、自分が描いた図面に上司から赤を入れてもらったりして、職場で製図のノウハウをマンツーマンの指導で学びました。そうやって身に付けた技能を同じ方法で訓練生へ伝えていきます。製図は教科書を読むだけではできません。先輩や上司から教わり、クセを盗むことで上達するのです。



正確な絵ではなく、正確なイメージを伝えることが重要と話す前島先生



機械CADの画面で製図のコツを指導する植村さん



機械CADについて語り合う二人

対談

製図は伝える 気持ちが大切

前島先生 製図の世界も手書きからコンピュータの2次元CAD、3次元CADへと移行している時代。検定や競技もCADのソフトにとらわれず、最終的に紙に印刷されたもので、評価する時代になっている。植村君の業務も今は3次元CADなのかな？

植村さん そうですね。通常の業務では2次元CADを使っていますが、作業標準書の作成時などに立体的でわかりやすく表現できる3次元CADを使用しています。

前島先生 2次元と3次元の大きな違いはどんなところだろうか？

植村さん 得られるデータの量の違いですかね。良くも悪くも2次元のデータは簡略化できる反面、正確な形状を描くのが難しい。例えば、上からと側面から見た奥行の長さが一致しない矛盾

未来のモノづくり産業を担う、 みなさんへのメッセージ

新東工業株式会社 豊川製作所

植村 晃さん

■世界トップシェアを誇る鋳造プラントメーカーの新東工業に勤務。第30回全国アビリンピック(全国障害者技能競技大会)機械CAD種目で金賞を受賞し、国際大会へ出場。

小さな目標でもコツコツと努力して、達成したときの喜びというものを実感してほしい。たとえ、挑戦して失敗し、挫折しても、その失敗がその後の人生で生かされるので、どんどんチャレンジしてほしいですね

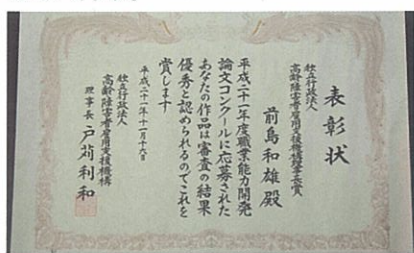


愛知県立岡崎高等技術専門学校

前島 和雄先生

■植村さんを始め、これまで指導した多くの訓練生が競技大会等で優秀な成績を納めている。機械製図職種等の技能検定においても深く貢献し、障害者の職業能力開発でも高く評価される県の職業訓練指導員。

ワープロで「ゆめゆめ」と打ち込むと、「努力」という文字に変換されます。夢をつかむためには絶対努力しなければならない。モノづくりに携わる人だけでなく、色々な人に言えることですが、夢をつかむために、ぜひ努力してほしいですね。



前島先生の論文は2度も表彰されている



した図を誤って描いてしまう。でも、3次元のデータはモデルとして立体的に形状を定義するから、どこから見ても、正確な図が描けると思う。

前島先生 今は3次元になって正確な図を描くことが容易になり、作図技能も変化しつつあるよね。ただ、最終的にアウトプットされるのは紙ベースで、紙で評価されることに変わりはない。製図というのは、正確な「絵を描く」のではなく、正確な「イメージ」を伝える必要がある。だから、「図面は(設計者の意図を伝えるための)言葉のない手紙」と言えると思うんだ。2次元から3次元になっても伝える気持ち、伝える技能が大切だって思ってる。